

なぜ秋田市はエイジフレンドリーシティの実現を目指すの？

日本は世界の高齢化先進国であり、秋田県は高齢化率全国一です。今こそ、高齢化をプラスに捉えた新しい社会づくりが必要です。秋田市は、全国に先駆けてエイジフレンドリーシティに取り組み、新しい社会モデルを発信していきます。



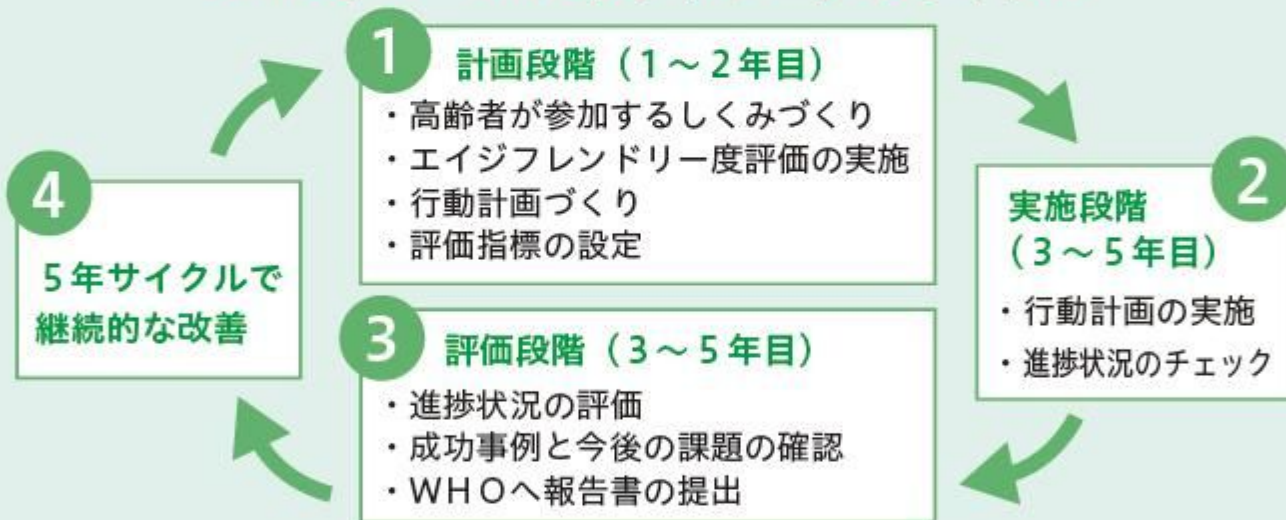
WHOグローバルネットワークへの参加

- ・ 2010年 WHOがWHOグローバルネットワークを設立
- ・ 2011年 日本国内初、秋田市がWHOグローバルネットワークに参加

これからの取り組みは？

2012年から2年間で行動計画をつくります。3～5年目には、WHOのサポートを受けながら具体的な取り組みを進めます。

WHOグローバルネットワークのサイクル



みんなにやさしいまちを

エイジフレンドリーシティを実現し、高齢者だけでなく障がい者、子育て世代、みんなにとってやさしいまちを目指します。

安全安心な屋外環境

世代間の交流

地域の絆づくり

社会参加の促進

思いやりのある地域社会

エイジフレンドリーシティ を知っていますか？

～ 高齢者にやさしい都市を目指して～



エイジフレンドリーシティって何？

エイジフレンドリーシティとは「高齢者にやさしい都市」の意味です。WHO(世界保健機関)が推進する、高齢化に対応したまちづくりの考え方です。

WHOが示す課題解決が必要な8つの分野

屋外スペースと建物

住居

尊敬と社会的包摂

コミュニケーションと情報

交通機関

社会参加

市民参加と雇用

地域社会の支援と保健サービス



秋田市